平成29年1月１日発行

椹梨公民館だより1月号

新年　明けましておめでとうございます。

地域の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、椹梨公民館事業推進に対しご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年も地域の皆様のご協力を頂きながら、より行きやすい心地よい公民館を目指して参りますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしております。

椹梨公民館　運営委員長

森本　博明

冬の体験講座ご案内

古布あそび

タンスに眠っている古い着物や着なくなった洋服から実用的なベストを作ってみませんか♪

日　時　１月２４日（火）・３１日（火）　１３：３０～１５：３０

場　所　椹梨公民館　集会室

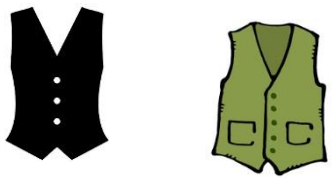
講　師　赤宗　明恵さん

定　員　１６名

参加費　１００円

（材料が必要な方のみ別途１，０００円～１，８００円）

持参物　裁縫道具一式・布



ゆるりヨガ❤　１２月１５日　夕方～仕事を終えてゆっくりとヨガの体験をしました。

温かい雰囲気の中，ﾎﾟｰｽﾞを気にしないで体を伸ばし，呼吸に意識をおくと自然と生を受けていることに喜びと感謝の気持ちがわいてきます。「ぜひ続けてください。」と受講者の方から声をいただきました。

ご近所さんより投稿ＦＯＴＯ

アカザ（地方名テンキリ）　上下のあごに２対ずづのヒゲをもつ。岩陰に潜み夜になると小魚やエビを食する。

近くの川に生息。

平成２９年度団体登録のご案内

平成２９年度に椹梨公民館を定期利用(新規・継続)される団体は登録が必要です。申請書を提出してください。

申請書類：団体登録利用申請書・団体登録カード

利用申請書・会則・公民館使用料減免申請書

提 出 先：椹梨公民館

提出期限：平成２９年１月２７日(金)

※申請書は椹梨公民館にあります。

お問い合わせは椹梨公民館相談員まで

ふるさと椹梨より

「珍地処面（ちんちこめん）」の由来

大具八幡神社には貴重な文化財として「珍地処面（ちんちこめん）」といわれる天狗のお面が保存されています。

このお面の特色は、何と言っても彫りが大胆で深く、独特の風貌をもっていることです。突き出た鼻の部分は別作りで、ほぞを作って差し鼻となっています。黒漆と赤漆で着色してあり、使用によって部分的に落色している所もありますが、漆塗りに段紋がみられないところから室町時代の作と推定されています。

このお面の由来は、「秋祭りの折りに社に鎮座なされている神々をお神輿に移して野に迎え、黄金に実る稲穂や紅葉した野山をご覧にいれました。その時ご休息される野中を「珍地処原」といい、その場所で、猿田彦（備後神楽の中で悪魔を払う鬼と言われている）が奉納する神楽を『珍地処舞』と言ったということです。そこで猿田彦がつけるお面を『珍地処面』と言うようになった」と伝えられています。

この祭事を「御神幸祭」と言いますが、江戸時代に参勤交代の武士の仕草を取り入れるようになってからは「神儀というようになった」ということです。

珍地処面

年末年始の休館日 12/28(水)～1/4（水）

お申込み・お問い合わせ　椹梨公民館

三原市大和町椋梨１００４

☎０８４７－３４－０２５２

生涯学習相談員

東山由紀・仁田人史枝

今年もよろしくお願い致します。